

学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）の見方【中・中等教育学校版】

お子さんと一緒に学習や生活について振り返り、次年度に向けての目標を立てることを通して、お子さんの頑張りを認めたり、励ましたりする資料として御活用ください。

生活習慣等に関する調査

— さいたま市の中学校・中等教育学校 第2学年の回答状況とあなたの回答 —

質問項目の内、さいたま市が重視している項目を抜粋して掲載しています。

質問項目	さいたま市の回答状況 (%)	あなたの回答
将来に関する意識		
① 将来の夢や目標を持っている。	%	○
学校生活		
② 学校に行くのは楽しい。	%	○
自尊意識		
③ 自分には、よいところがあると思う。	%	
基本的な生活習慣		
④ 朝食を毎日食べている。	%	
⑤ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。	%	○
⑥ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。	%	
学校生活		
⑦ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	%	
読書習慣		
⑧ 読書が好き。	%	○
キャリア教育		
⑨ 学ぶことや働くことの意義を考えたり、今、学校で学んだことと、自分の将来とのつながりを考えたりしている。	%	
地域とのかわり等		
⑩ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。	%	

市の回答状況も参考にしながら、振り返ってみましょう。

調査結果から、自分の生活で見直していこうと思うことを記入して、今後の生活に活かしましょう。

この欄は、調査結果を見て、お子さんが自分の生活で「見直していきたいこと」や「今後も続けていきたいこと」などを記入する欄です。

●保護者様へ●

さいたま市学習状況調査では、お子さんの生活習慣や学習の状況を把握することができます。今後の生活習慣や家庭学習の確立のために、「学力向上ポートフォリオ（児童生徒版）」をファイルに綴じるなどして、お子さんの成長物語としてご活用ください。

保護者より

目標に対するコメントを記入するなどして、お子さんの頑張りを認め、励ますために御活用ください。

学力に関する調査

— さいたま市の平均正答率とあなたの正答率 —

さいたま市の平均正答率とあなたの正答率を比べて、あなたの成果と課題をみつめよう。課題を解決するための取組を工夫しよう。

□ さいたま市の平均正答率 ← あなたの正答率 → あなたの前回の正答率

中学校国語 2年（例）

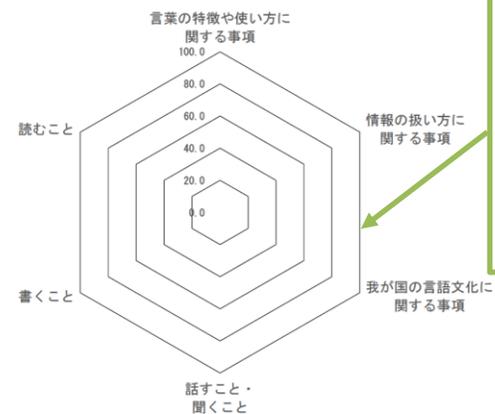
市の平均正答数や平均正答率を示しています。

お子さんの正答数、正答率等を示しています。

分類	区分	対象設問数	さいたま市の平均		あなた			
			正答数	正答率	正答数	正答率	前回の正答率	
全体	国語	21 問	問	%	問	%	%	
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	4 問	問	%	問	%	%
		情報の扱い方に関する事項	0 問	-	-	-	-	-
		我が国の言語文化に関する事項	4 問	問	%	問	%	%
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	4 問	問	%	問	%	%
		書くこと	3 問	問	%	問	%	%
	読むこと	6 問	問	%	問	%	%	

内容や領域ごとの正答数、正答率等を示しています。

※「情報の扱い方に関する事項」からの出題はありませんでした。



お子さんの正答率と市の平均正答率を領域等ごとに示しています。第2学年のお子さんは、昨年の自分の正答率も示されています。

「学力に関する調査」の設問ごとの解答状況等を確認することができます。
 保護者の皆様は、お子さんの努力を認め、励ますとともに、どこにつまずきがあるのかを一緒に考え、お子さんの学習意欲の向上に御活用ください。

国語		言語	書	読
学習指導要領の内容	知識	言葉の特徴や使い方に關する事項	書	情
	読解力、表現力等	書くこと、読むこと	書	読
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の分野・領域	正誤	さいたま市の平均正答率(%)
1_1	資料を用いて、自分の考えが分りやすいように話すことができるかどうかをみる。	話		
1_2	話の内容を捉え、大切な情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる。	話		
1_3	資料について他者の発言と結び付けて分析し、それに関連する自分の体験を話すことができるかどうかをみる。	話		
1_4	話題や展開を捉えながら話し合い、他者の発言を踏まえて結論をまとめることができるかどうかをみる。	話		
2_1	伝えたいことを分りやすく伝えるために、段落の役割を整理して、見出しの構成を検討できるかどうかをみる。	書		
2_2	助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことができるかどうかをみる。	言		
2_3	読み手からの前置語を踏まえ、文章の展開に沿って説明を加えることができるかどうかをみる。	書		
2_4	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠となる情報を資料から正しく引用できるかどうかをみる。	書		
3_1	目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。	読		
3_2	目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。	読		
3_3	目的に応じて適切な情報を得て、内容を解釈することができるかどうかをみる。	読		
3_4	文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができるかどうかをみる。	読		
3_5	文章の構成や論理の展開を把握し、表現の着眼点に着目しているかどうかをみる。	読		
3_6	文章中に示されている具体例と、書き手の主張との関係を考えながら内容を把握することができるかどうかをみる。	読		
4_1	現代語訳を手掛かりに作品を読むことを通して、文章の展開を捉えることができるかどうかをみる。	我		
4_2	文語のきまりを理解しているかどうかをみる。(かやうなる)	我		
4_3	感情のやり取りを通して、登場人物の行動に着目して作品を読み、そこから内容を的確に読み取ることができるかどうかをみる。口	我		
4_4	漢字の行書とそれに調和した假名の書き方を理解しているかどうかをみる。	我		
5_1 ①	文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。(回る)	言		
5_1 ②	文脈に即して漢字を使うことができるかどうかをみる。(務める)	言		
5_2	文章の主題を正しく捉え、文の構造を理解しているかどうかをみる。	言		

設問のねらいを示しています。

数学		数	算
学習指導要領の領域等	数と式	数	
	図形		
	関数		
	データの活用		
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の分野・領域	正誤
1 (1)	整式の加法と減法の計算をすることができる。	数	
1 (2)	二元一次方程式の意味を理解している。	数	
2 (1)	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる。	数	
2 (2)	統合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる。	数	
3	連立方程式を解く過程を、事象に即して解釈することができる。	数	
4	一次関数の式を理解している。	関	
5 (1)	一次関数の変化の割合の意味を理解している。	関	
5 (2)	グラフ上のPのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる。	関	
6	座標の作図の方法を理解している。	図	
7 (1)	投影図から考えられる立体を判断することができる。	図	
7 (2)	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。	図	
8	既約の図形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。	図	
9	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している。	デ	
1 0 (1)	ヒストグラムから必要な情報を読み取ることができる。	デ	
1 0 (2)	相対度数、中央値、最頻値の意味を理解している。	デ	
1 0 (3)	与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる。	デ	

設問ごとの正誤を示しています。

社会		社	会
学習指導要領の領域等	世界と日本の関係	社	
	世界の様々な文化		
	日本の様々な文化		
	歴史との対話		
	近世までの日本とアジア		
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の分野・領域	正誤
1 (1)	世界の地域構成を大観し、世界の地域区分について理解している。	世	
1 (2)	大陸と海洋の分布などに着目して、地球上の位置関係を正しく捉えることができる。	世	
1 (3)	伝統的な住居の特色と、その地域の自然的条件との関係性を考察することができる。	世	
2 (1)	グラフから、アジア州の地域的特色を読み取ることができる。	世	
2 (2)	複数の情報を結び付けて、ヨーロッパに見られる地味の課題の要因や影響を考察することができる。	世	
2 (3)	アジア州の地域的特色を大観するために必要な情報を導くことができる。	世	
2 (4)	北アフリカ州に見られる地味の課題の要因や影響を、地域的特色と関連付けて考察することができる。	世	
3 (1)	少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。	日	
3 (2)	国内各地の結び付きについて、輸送対象や輸送距離、輸送時間などによって輸送手段の違いが現れることを理解している。	日	
3 (3)	日本の地形の特色を理解している。	日	
3 (4)	日本の気候の特色を理解している。	日	
3 (5)	日本の資源・エネルギー利用の現状を理解している。	日	
3 (6)	地理情報システムを活用して、地域で見られる事象を的確に読み取ることができる。	日	
4 (1)	時代区分の簡潔な表現についての基本的な内容を理解している。	歴	
4 (2)	小学校での学習を踏まえ、文化財と時代区分との関わりについて考察することができる。	歴	
4 (3)	年代の表し方についての基本的な内容を理解している。	歴	
5 (1)	東アジアにおける交流に着目して、中世と近世の社会の変化の様子を考察することができる。	近	
5 (2)	武士の政治への進出に着目して、中世と近世の社会の変化の様子を考察することができる。	近	
5 (3)	図表資料を活用して、中世と近世の社会の変化の様子を考察することができる。	近	
6 (1)	地球の国際的な役割に関する資料から、東アジア世界との密接な関わりが見られることを読み取ることができる。	近	
6 (2)	文庫資料を活用して、中世の日本を大観し、時代の特色を考察することができる。	近	
6 (3)	織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係について、原因や影響などに着目して考察することができる。	近	
6 (4)	江戸幕府の成立と大規模に関する資料から、幕府と藩による支配が確立したことを読み取ることができる。	近	
6 (5)	近世における産業や交通の発達について理解している。	近	

「さいたま市の平均正答率」(%)を示しています。

※5(3)は、問語不成立のため、正誤扱いとする。

理科		理	科
学習指導要領の領域等	身のまわりの現象	理	
	身のまわりの現象		
	身のまわりの現象		
	身のまわりの現象		
設問番号	設問のねらい	学習指導要領の分野・領域	正誤
1 (1)	サンゴ礁が形成される環境が古生代であり、時代の推測に役立つ化石を示す化石のつくりかたを理解している。	地	
1 (2)	石灰岩の特性を理解している。	地	
1 (3)	柱状節理の層の厚さから、同じ年代でできた層を推察し、そこから層の年代を考察することができる。	地	
1 (4)	花ごけがどのようにしてできたのか、また、それにより植物はどのようにして繁栄しているのかを見ることが理解している。	1 (4)	
2 (1)	天気図における基本的な記号(前線)の知識が身に付いている。	地	
2 (2)	天気図における基本的な記号(天気記号)の知識が身に付いている。	地	
2 (3)	日本付近の上空に吹く風を偏西風ということを理解している。	地	
3 (1)	実験の目的から、暗室に置く理由を考察することができる。	生	
3 (2)	対照実験の結果から、設問の答えを判断する箇所を見出すことができる。	生	
3 (3)	条件を変えたら、結果が変わる箇所を考察することができる。	生	
4 (1)	ヒトの肺の構造を動かしたとき、ゴム風船と風船がそれぞれ肺のどの部分にあたるのかを理解し、呼吸の仕組みを説明できる。	生	
4 (2)	肺のはたらきを理解した上で、図から、肺静脈に酸素が最も多く含まれる血液が流れることを判断できる。	生	
4 (3)	小腸のはたらきを理解した上で、図から、食後、ブドウ糖やアミノ酸が最も多く含まれる血液が流れる血管を導くことができる。	生	
5 (1)	2種類以上の元素が結びついた物質について理解している。	粒	
5 (2)	マグネシウムと酸素が結びつくときの化学変化を化学反応式で表すことができる。	粒	
5 (3)	実験結果から、結びつく酸素の質量を見だし、マグネシウムと酸素が結びつくときの質量の比を求めることができる。	粒	
6 (1)	発生した気体が二酸化炭素であることを理解している。	粒	
6 (2)	発生した液体が水であることを塩化カルシウム結晶によって確かめられることを理解している。	粒	
6 (3)	加熱する試験管の口を感ずりながら下げる理由を実験中に起こりうる事故と関連付けて考えることができる。	粒	
7 (1)	スクリーンに映った像の向きを理解している。	工	
7 (2)	スクリーンに映った像の向きを理解している。	工	
7 (3)	凸レンズによってできる実像の位置や大きさについての規則性を理解している。	工	
8 (1)	実験結果をもとに、正しいグラフをすべて選ぶことができる。	工	
8 (2) ①	力の名称(重力・垂直抗力・摩擦)の正しい向きについて理解している。	工	
8 (2) ②	物体が静止していることから、2力がつり合っていることを理解し、図中のつり合いの条件に合う向きを見つけることができる。	工	

理科でがんばりたいこと

国語でがんばりたいこと

数学でがんばりたいこと

社会でがんばりたいこと

この欄は、調査結果を見て、お子さんが教科ごとに「がんばりたいこと」を記入する欄です。